

オーデコートGエコ

■特長

- 揮発性有機化合物量(VOC)が非常に少なく、室内環境に配慮した水性塗料です。
- 水性塗料特有の仕上がり後の粘着感が気になりません。
- 藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。
- 防火材料認定を取得しています。

JIS K 5663 1種 合成樹脂 エマルションペイント	5分つや有り 3分つや有り つや消し
防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

本商品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と、店頭にて調色していただく為のJIS非表示品があります。
JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。

■用途

一般住宅、学校、幼稚園、託児所、介護施設、病院、ホテル、オフィス、レストラン、食品工場などの建物内部のコンクリート・モルタル・ボード類や鉄部、木部など

■基本性能

つや調整品は JIS K 5663 1種、合成樹脂エマルションペイントの規格に合格しています。

試験項目	規 格	5分つや有り・3分つや有り・つや消し
		JIS K 5663 1種
		試験結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があつてはならない	合格
低温安定性(-5°C)	変質しないものとする	合格
表面乾燥性	常温乾燥2時間以内で表面乾燥する(23°C、50%) 低温乾燥 4時間以内で表面乾燥する(5°C)	合格 合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
隠れい率% (白および淡彩)	93以上	合格
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする	合格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格
屋外暴露耐候性	12か月間の試験で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格

■塗料性状

塗料名	色 相	つ や ※	容 量	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m ² /回)	塗装方法
オーデコートGエコ	各色※	7分つや有り 5分つや有り、3分つや有り つや消し	15kg 4kg	水道水	0~10	0.13~0.15	はけ、ワールローラー エアレススプレー

※つや消しは淡彩色のみ。※7分つや有りも調色可能ですが、JIS品ではありません。

■ 標準塗装仕様

工 程	塗 料 名	塗り回数	使 用 量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥 時間(23℃)	希 釀 剂	希釀率(%)	塗装方法
■ コンクリート・モルタル							
下 地 調 整	被塗面のごみ、ほこりを除き、清浄な下地とする。	1	0.10~0.16 0.12~0.16	4時間以上	水 道 水	ホワイト:0~10 透明:無希釀	はけ、ウールローラー
下 塗 り	水性カチオンシーラー(ホワイト・透明)						エアレススプレー
上 塗 り	オーデコートGエコ (7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り・つや消し)	2	0.13~0.15 ^{注)}	4時間以上	水 道 水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

■ 鉄 部

下 地 調 整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去する。油脂分、水分は溶剤拭きを行い清浄な面とする。						
下 塗 り	水性ハイポンプライマー ^(注)	1	0.13~0.16 ^{注)}	4時間以上 7日以内	水 道 水	0~5	はけ、ウールローラー
上 塗 り	オーデコートGエコ (7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り・つや消し)	2	0.13~0.15 ^{注)}	4時間以上	水 道 水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

*上記の各数量は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

*旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

*カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社までご相談いただきますようお願いします。

注)・オーデコートGエコの塗付量は、0.10kg/m²/回です。

・水性カチオンシーラーの塗付量は、0.09kg/m²/回です。

・使用量：被塗表面単位面積あたりの塗装材料（希釀する前）の使用質量

・塗付量：被塗表面単位面積あたりの塗装材料（希釀する前）の付着質量

■ コンクリート・モルタル用下塗り塗料

水性カチオンシーラー透明、水性カチオンシーラーホワイト、水性透明シーラー、
水性ホワイトシーラー、水性シミ止めシーラーII

■ 鉄部用下塗り塗料（さび止め）

水性ハイポンプライマー、ハイポンファインプライマーII、
1液ハイポンファインデクロ、(使用するさび止め塗料の肌の違いにより、上塗り塗装後の)
エスパークーンエース
外観・光沢感に若干の差異が生じる場合があります。

■ 木部用下塗り塗料

水性ウッドベースII、1液ファインウレタンU100木部用下塗

■ 施工上の注意事項

●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- 絶えず顔が発するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶液が表面に溶出し粘着物などにならなくて析出するおそれがあります。著しい結露が発生する場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をお試しください。
- 蓄熱されやすい塗料で、軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材などを使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弹性リボン、弾性スリップ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階すでに旧塗膜が剥離していることがあります。そのまま塗装すると剥離がさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、耐熱、防水、下地の種類、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥離、はしづけが生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 塗装場所の気温が10℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けください。
- 4つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- 5つや調整品では、塗り継ぎや補修つぶやむらから出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 6.過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- 7つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- 8つや調整品では、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながら使用ください。
- 9.防湿・防かび・抗菌効果は、繁殖を抑制するのです。特に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 10.塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 11.色相によっては降雨、露濡れによってぬれ色になりますが、乾燥すると元に戻ります。
- 12.乾燥後の塗膜がけたむらには、シーラーなどの溶剤では洗浄できず、せっけん水で洗浄してください。
- 13.スプレー剤の先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下およびむらの原因になります。
- 14.乾燥条件によっては塗膜表面に粘着が感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 15.動物の糞は、はけが回まつたりマニアになりやすいので、できるだけドライロードはけをご使用ください。
16. JIS K 5663 1種(主として屋外用)の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
- 17.繊維維、耐火被覆用ひん酸カルシウム板、ロックウールなどの非常にひびいたり弱い素材には塗装できません。
- 18.水点下で貯蔵するときは、凍らないように15℃以下で貯蔵、保管してください。
- 19.旧塗膜に発生した藻類かびは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 20.風化面に吸い付いた藻類かびは、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ-液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラー、ファインバーエクトンクリークをご使用ください。
- 21.シーリング面の上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 22.やがてく付着している場合は、ウエスなどで水を拭いて除去し、被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(安価23℃、6時間)させたら2回目の塗装をすることですぐに止めてかくはんします。シミ、あとは止むべくいく場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥してから塗装してください。
- 23.タイル面の洗浄で使用する薬剤は塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じことがありますので、この様な場合には薬剤を付着しない様に塗装面の養生を行なってください。
- 24.塗化ビニールクロスは、がれこめられ、浮き出る、浮き出る、浮き出るなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどからじめ補修などは押さえておくことが安心です。
- 25.素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製H-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製H-500シリーズ、コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
26. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において東北や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンタイプの使用は避けください)。
- 27.外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。

安全衛生上の注意事項 <オーデコートGエコ つや消し 白>

横倒 禁止

- 直射日光や水濡れは厳禁。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
13. 内容物・容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

53.製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

危 険		危 险 有 害 性 情 報	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 水生生物に有害

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿 支 店 ☎ 06-6455-9320
東 北 支 店 ☎ 022-232-6711 中 国 支 店 ☎ 082-281-2180
関 東 支 店 ☎ 03-5479-3614 四 国 支 店 ☎ 0877-56-2346
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九 州 支 店 ☎ 092-751-9861
中 部 支 店 ☎ 052-461-1960

•このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2023 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

■詳しい情報はホームページで [日本ペイント 建物](http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html) 検索

カタログ NP-B021

SS230303T

2023年3月現在